

東京商工会議所「声かけ・サポート運動」 推進宣言

生活・価値観の多様化や情報化の進展、個人主義の浸透など現代社会における様々な要因により、人と人とのつながりや他者を思いやる共助の心が失われつつある。その結果、マナーの悪化やモラルの低下などにより、様々な社会問題が顕在化している。

そうした中、訪日外国人客の一層の増加や、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、交通機関や公共空間におけるバリアフリー化や多言語表記などハード面の整備は進みつつある。加えて、誰もが安心・安全・快適に暮らし過ごせる地域社会を実現するためには、おもてなしの精神や他者を思いやる共助の心を涵養するなど、ソフト面の対応も不可欠である。

こうした背景のもと、高齢者や子ども、妊婦、子ども連れの方、障害者、外国人等を社会全体で見守り支え合う気運を醸成させ、誰もが安心・安全・快適に暮らし過ごせる地域社会を実現するために、私たち東京商工会議所会員企業は、「声かけ・サポート運動」を下記により推進することをここに宣言する。

なお、私たち東京商工会議所会員企業一社一社が「声かけ・サポート運動」を積極的に推進することで、おもてなしの精神や他者を思いやる共助の心を東京ひいては日本全国に定着させ、2020年オリンピック・パラリンピックのレガシーとして未来に引き継いでいくことを目指していく。

記

- 高齢者や子ども、妊婦、子ども連れの方、障害者、外国人をはじめ、街なかなど様々な場面で困っている人に気付いたら、積極的に「声かけ」をします。
- 「声かけ」を通じて、押し付けではなく、相手が求める範囲でのお手伝いに努めます。
- 「声かけ」を通じて、おもてなしや敬愛、善意の気運に満ち溢れ、誰もが安心・安全、快適に暮らし過ごせる地域社会の実現に貢献します。

以上